

令和6年度水稻V溝乾田直播見本栽培のまとめ

1 耕種概要

作業	内容
代かき	12月上旬(播種前年の積雪前)
種子消毒	3月中旬 スポルタックスターナSE 3月下旬 キヒゲンR2フロアブル
播種作業	4月24日 播種量 乾粃10kg/10a程度 施肥量 窒素成分10kg/10a程度
雑草防除	4月23日 ラウンドアップマックスロード(畦畔際のみ) 5月12日 ノミニー液剤(200mL/10a)
入水	5月20日頃から開始(稲1~2葉期)
雑草防除	5月31日 プライオリティジャンボ(250g/10a)
病虫害防除	8月2日 ビームゾル(0.8L/10a) 8月7日 スタークルメイト液剤10(0.8L/10a) 8月15日 スタークルメイト液剤10(0.8L/10a)
収穫	10月上旬
耕起	11月上旬

2 生育データ

表1 生育ステージ到達日等

出芽			幼穂形成期	出穂期	成熟期
始め	盛期	揃い			
5月第1半旬	5月第2半旬	5月第3半旬	7月8日	7月30日	9月12日

- ・ 出芽は良好で5月31日時点の苗立数は250~300本/m²を確保しました。
- ・ 平均気温は平年より高い日が多く、出穂期は7月30日と平年より早まりました。

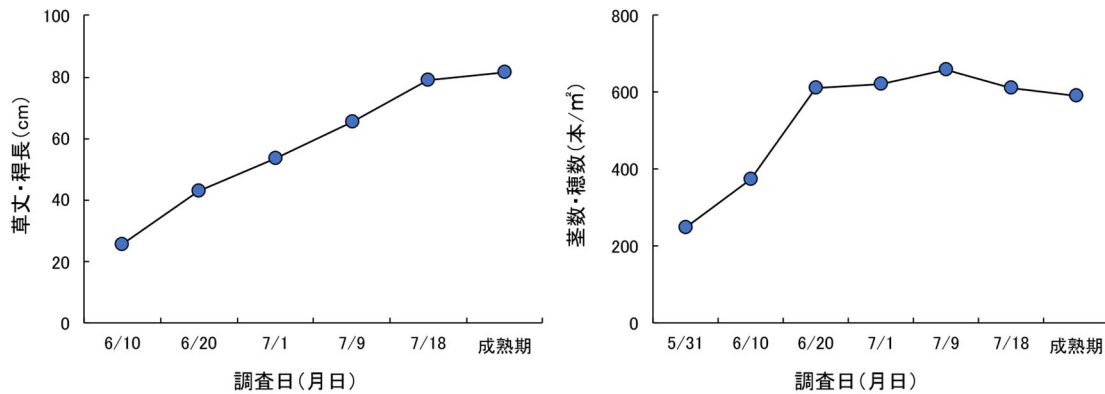


図1 草丈・稈長（左図）と茎数・穂数（右図）の推移

- ・ 苗立ち数が多かったことから、6月20日時点で茎数は610本/m²となり、十分な茎数を確保できていました。

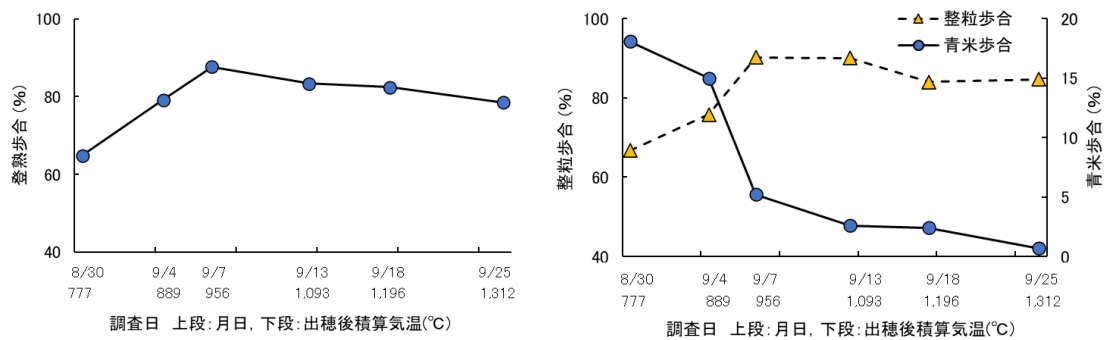


図2 登熟歩合（左図）と整粒歩合および青米歩合（右図）の推移

- ・ 登熟歩合は9月7日（出穂後積算気温 956℃）に80%に達しました。
- ・ 籾の黄化の進みはやや緩慢に推移しましたが、青米歩合は9月7日には10%を下回り、以降は整粒歩合が80%を超えました。

表2 収量調査結果（坪刈り成績）

表1 収量及び収量構成要素

年次	収量 (kg/10a)	m ² 穂数 (本)	1穂籾数 (粒)	m ² 籾数 (×100粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
本年	595	567	55	309	81.9	23.6
前年	676	506	66	333	85.9	23.6

注1) 圃場内2か所を坪刈りした平均値

2) 本年は減数分裂期頃に10a当たり2kg追肥、前年は幼穂形成期頃は1kg追肥

表3 玄米外観品質（坪刈り成績）

年次	整粒 (%)	胴割粒 (%)	白未熟粒 (%)	青未熟粒 (%)	その他未熟粒 (%)	死米 (%)
本年	88.0	0.0	3.1	2.0	6.8	0.2
前年	70.8	3.1	15.3	1.4	8.3	0.9

注1) 玄米品質は、穀粒判別機(SATAKE RGQI20)による測定値

2) 胴割粒は碎粒を含んだ値

- ・ 水稻V溝乾田直播見本圃場の収量は 595kg/10a でした。
- ・ 整粒歩合は 88.0%で玄米の外観品質は良好でした。

3 生育の様子



5月1日 稲の出芽は見られていませんでしたが、土中で発芽・発根している種が見られました。ラウンドアップマックスロード散布後に発生した雑草が散見されました。



5月12日 浸種粃を播種していること、播種後が高温傾向であったことから出芽は順調で、出芽が揃っていました。ノビエの葉齢進展も早く、3葉期を超える個体も散見されたことから、入水直前の選択性茎葉処理剤を散布しました。



5月31日 5月20日頃から入水開始しました。5月31日時点の苗立ち数が250～300本/㎡を確保していました。イネの葉齢は2.5～3.0葉で、ノミニー液剤による軽微な薬害（黄化症状）がみられましたが、その後の生育には支障がありませんでした。同日には除草剤散布に適した湛水深（8～10cm）を確保できたため、一発処理剤を散布しました。



6月10日 草丈は26cm、茎数は380本/㎡でした。一発処理剤の薬害はみられず、順調に生育していました。



6月20日 草丈は43cm、茎数は610本/㎡でした。生育は良好で、すでに十分な茎数を確保していたため、10cm程度の深水管理を行いました。



7月1日 草丈は 54cm、茎数は 620 本/㎡でした。



7月9日 調査前日の7月8日に幼穂形成期に到達しました。草丈は 65cm、茎数は 660 本/㎡、葉色値（SPAD502）は 33.4 でした。



7月18日 草丈は 79cm、茎数は 610 本/㎡、葉色値（SPAD502）32.6 でした。苗立ち数が目標苗立ち数（100～140 本/㎡）を大きく上回る 250～300 本/㎡であったことと、葉色が低下していることから、7月17日に窒素成分 2 kg/10a で追肥を行いました。



7月31日 出穂期は7月30日でした。8月2日に殺菌剤、8月7日と8月14日に殺虫剤を散布しました。



9月10日 稈長は82cm、穂数は500本/m²でした。倒伏は見られず、登熟は順調に進みました。9月12日に成熟期（籾の黄化割合が9割程度）に達しました。また、9月13日に坪刈り調査を実施しました。